

科目名	建築法規特論							年度	2026	
英語科目名	Building Codes Exercise							学期	前期	
学科・学年	建築学科 3年次		必/選	選	時間数	60	単位数	4	種別※	講義
担当教員	杉浦 文美		教員の実務経験		有	実務経験の職種		建築設計		
<b>【科目の目的】</b> 2級建築士学科試験「学科Ⅱ（法規）」を学科受験に向けて学ぶとともに、他者に説明することで自身の学修理解度を深める。 また、試験突破に必要な解答テクニックを学ぶ。										
<b>【科目の概要】</b> 学科Ⅱ（法規）について、下記の分野に関する講義と問題演習を通して学ぶ。  用語の定義、手続、面積・高さの算定、一般構造(採光・換気、階段)、耐火・防火、防火地域・準防火地域、防火区画、避難施設等、内装制限、構造計算、敷地等と道路、用途地域、建蔽率・容積率・高さ制限、日影規制、雑則、建築士法、その他関係法令										
<b>【到達目標】</b> A. 基礎知識・用語の定義・手続に関する知識を正確に理解し解答に導くことができる B. 採光・換気・防火・内装制限・避難施設・階段等に関する知識を正確に理解し解答に導くことができる C. 構造計算・各種構造に関する知識を正確に理解し解答に導くことができる D. 道路・用途地域・容積率・建蔽率・高さ制限・防火準防火等の知識を正確に理解し解答に導くことができる E. その他関連法規を正確に理解し解答に導くことができる										
<b>【授業の注意点】</b> 配布資料等により予習・復習を行うこと。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5 優れている		レベル3 ふつう				レベル1 要努力			
到達目標 A	基礎知識等を理解し 正確に解答できる		基礎知識等を理解し 解答できる				基礎知識等を 理解できない			
到達目標 B	採光～階段等を理解し正 確に解答できる		採光～階段等を理解し解 答できる				採光～階段等を理解でき ない			
到達目標 C	構造等知識を理解し正 確に解答できる		構造等知識を理解し解 答できる				構造等知識を理解でき ない			
到達目標 D	道路～準防火等知識を理 解し正確に解答できる		道路～準防火等知識を理 解し解答できる				道路～準防火等知識を理 解できない			
到達目標 E	関連法規の知識を理解し 正確に解答できる		関連法規の知識を理解し 解答できる				関連法規の知識を理解で きない			
<b>【教科書】</b> 配布資料による										
<b>【参考資料】</b> プリント										
<b>【成績の評価方法・評価基準】</b> 小テスト、模擬試験、取組み姿勢を評価										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		建築法規特論			年度	2026
英語表記		Building Codes Exercise			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	法規の概要	法規に慣れる	1 試験内容の概要	法規で問われる内容を理解している	1	
			2 法令集の活用	法令集の活用方法を理解している		
			3 確認	法規独特の言い回しを理解している		
2	用語の定義 建築手続	学修範囲の理解	1 用語の定義	講義内容を理解することができる	1	
			2 建築手続	講義内容を理解することができる		
			3 確認	学修範囲を問題演習の解答へ繋がられる		
3	面積・高さ 一般構造	学修範囲の理解	1 面積・高さ	講義内容を理解することができる	1	
			2 一般構造	講義内容を理解することができる		
			3 確認	学修範囲を問題演習の解答へ繋がられる		
4	耐火・防火 防火・準防火地域	学修範囲の理解	1 耐火・防火	講義内容を理解することができる	1	
			2 防火・準防火地域	講義内容を理解することができる		
			3 確認	学修範囲を問題演習の解答へ繋がられる		
5	防火区画	学修範囲の理解	1 防火区画	講義内容を理解することができる	1	
			2 防火区画の構造	講義内容を理解することができる		
			3 確認	学修範囲を問題演習の解答へ繋がられる		
6	避難施設 排煙設備等	学修範囲の理解	1 避難施設	講義内容を理解することができる	1	
			2 排煙設備等	講義内容を理解することができる		
			3 確認	学修範囲を問題演習の解答へ繋がられる		
7	内装制限	学修範囲の理解	1 安全検証法	講義内容を理解することができる	1	
			2 内装制限	講義内容を理解することができる		
			3 確認	学修範囲を問題演習の解答へ繋がられる		
8	中間試験	学修範囲の確認	1 問題演習	正確に解答へと導くことができる	1	
			2 解説	解説内容を理解することができる		
			3 相互理解	選択肢の正誤の理由を他者に説明できる		
9	構造計算 構造強度	学修範囲の理解	1 構造計算	講義内容を理解することができる	1	
			2 構造強度	講義内容を理解することができる		
			3 確認	学修範囲を問題演習の解答へ繋がられる		
10	道路 用途地域	学修範囲の理解	1 道路	講義内容を理解することができる	1	
			2 用途地域	講義内容を理解することができる		
			3 確認	学修範囲を問題演習の解答へ繋がられる		
11	建ぺい率 容積率	学修範囲の理解	1 建ぺい率	講義内容を理解することができる	1	
			2 容積率	講義内容を理解することができる		
			3 確認	学修範囲を問題演習の解答へ繋がられる		
12	高さ	学修範囲の理解	1 3つの高さ制限	講義内容を理解することができる	1	
			2 高さの緩和	講義内容を理解することができる		
			3 確認	学修範囲を問題演習の解答へ繋がられる		
13	関係法令	学修範囲の理解	1 建築士法	講義内容を理解することができる	1	
			2 その他関係法令	講義内容を理解することができる		
			3 確認	学修範囲を問題演習の解答へ繋がられる		
14	模擬試験 1	本試験対策	1 問題演習	正確に解答へと導くことができる	1	
			2 解説	解説内容を理解することができる		
			3 相互理解	選択肢の正誤の理由を他者に説明できる		
15	模擬試験 2	本試験対策	1 問題演習	正確に解答へと導くことができる	1	
			2 解説	解説内容を理解することができる		
			3 相互理解	選択肢の正誤の理由を他者に説明できる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等